News Release

経済産業省
北海道経済産業局

陸上自衛隊との連携による
災害時燃料供給合同支援訓練を実施します

2024年 1月 23日

（本資料のお問い合わせ先）
経済産業省 北海道経済産業局
資源エネルギー環境部 資源・燃料課（担当：齋藤、大沼、奥河）
TEL：011-709-2311（内線2640）
E-mail：bzl-hokkaido-shigen-nenryo@meti.go.jp

要旨

- 2011年の東日本大震災発生時、資源エネルギー庁は、製油所、タンクローリー、道路等の被災により、民間による輸送力の限界に直面し、防衛省は、大規模災害発生時の人命救助など自衛隊の活動用燃料の確保に課題を認識しました。
- これを受け、両省庁は災害時の燃料供給に関する連携･協力のあり方について検討を重ね、2014年に「26年度自衛隊統合防災訓練（26ＪＸＲ）」と「みちのくアラート2014」の2つの合同訓練を実施しました。
- 緊急時の円滑な燃料供給のためには、両省庁間の連携･協力を「当たり前の習慣」として定着させることが重要であり、本省庁間のみならず各地域でも、経済産業局と自衛隊が連携して訓練を実施し、日頃のコミュニケーションによる「顔の見える関係」を構築することが必要なことから、本訓練の実施に至りました。
- 当局では2015年度に陸上自衛隊北部方面隊との合同訓練「ノーザンレスキュー」を実施。以後、2022年度までの8年間で冬期を中心に計9回の合同訓練を実施してきました。(令和元年度と3年度はコロナ禍により中止)
- 2018年の北海道胆振東部地震に伴うブラックアウトを受け、従来の災害想定「厳冬期の地震発生」に「地震発生に伴う大規模停電」も加え、訓練を実施しています。
- 今年度も、当局と陸上自衛隊北部方面隊は「厳冬期の道央地域における地震及び地震に伴う大規模停電の発生」を災害想定とした「災害時燃料供給合同支援訓練」を実施し、災害時における燃料供給のノウハウの更なる拡充を目指します。

令和５年度 災害時燃料供給合同支援訓練（概要・行程）

- 本訓練は「情報伝達訓練」→「製油所又は油槽所での燃料取得訓練」→「SS、災害時重要施設等への燃料供給訓練」により、構成されます。
- 訓練での実燃料の使用（積込・荷下ろし）は基本的に行わず、模擬訓練で実施します。
- 今年度の訓練は、厳冬期の道央圏における地震と大規模停電の発生により、災害時でも稼働が求められるＳＳ、災害時重要施設等での燃料のひっ迫や民間の輸送力では対応できない場面を想定、燃料の積み込み、荷下ろし等の作業手順の確認や、SS・災害時重要施設の状況把握に努めます。

【訓練１日目】２月１５日（木）

【訓練①】情報伝達訓練　9:00～9:45　P４

・参加機関：国家公務員共済組合連合会斗南病院、北海道、陸上自衛隊北部方面隊、経済産業省北海道経済産業局

※ 電話を使用した机上訓練による実施

【訓練②】燃料取得訓練　13:30～15:30　P５

・参加機関：出光興産(株) 北海道製油所、陸上自衛隊北部方面隊 北海道経済産業局
・訓練場所：出光興産(株) 北海道製油所（苫小牧市真砂町25番地1）
・訓練内容：陸上自衛隊が、燃料タンク車とドラム缶で燃料（ガソリン、軽油）を取得する。

【訓練２日目】２月１６日（金）

【訓練③】燃料供給訓練　9:00～10:30　P６

・参加機関：札幌市水道局、陸上自衛隊北部方面隊、北海道経済産業局
・訓練場所：札幌市水道局 配水センター（札幌市豊平区西岡2条2丁目6-3）
・訓練内容：陸上自衛隊が、非常用発電機用燃料（軽油）を荷下ろしする。

【訓練④】燃料供給訓練　11:30～12:30　P７

・参加機関：北海道エネルギー(株)、陸上自衛隊北部方面隊、北海道経済産業局
・訓練場所：北海道エネルギー(株) チャレンジ手稲インター給油所 **（住民拠点SS）**（札幌市手稲区西宮の沢4条1丁目2-7）
・訓練内容：陸上自衛隊が、車両給油用燃料（ガソリン、軽油）を荷下ろしする。

【訓練⑤】燃料供給訓練　14:00～15:00　P８

・参加機関：国家公務員共済組合連合会斗南病院、陸上自衛隊北部方面隊、北海道経済産業局
・訓練場所：斗南病院（札幌市中央区北4条西7丁目3-8）
・訓練内容：陸上自衛隊が、非常用発電機用燃料（軽油）を荷下ろしする。

【訓練①】情報伝達訓練

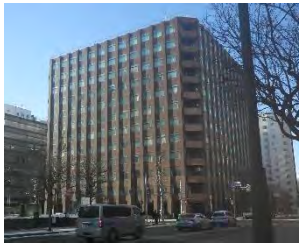
（電話を使用した机上訓練）

- 参加機関：国家公務員共済組合連合会 斗南病院、北海道、陸上自衛隊北部方面隊、経済産業省北海道経済産業局
- 訓練内容：斗南病院から北海道への燃料供給要請に対し、陸上自衛隊に燃料供給要請を行うまでの情報伝達の流れについて確認する。

斗南病院

①
燃料供給を要請

北海道石狩振興局



②
燃料供給を要請

北海道災害対策本部

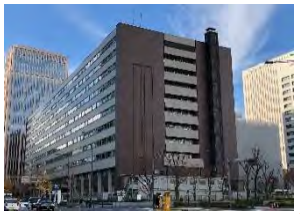
③
北海道経済産業局を経由して資源エネルギー庁に燃料供給を要請

⑥

⑦
燃料の輸送・供給を要請

陸上自衛隊北部方面隊

資源エネルギー庁



資源エネルギー庁が元売り等と調整し、燃料手配と輸送方法を決定。北海道経済産業局経由で回答。

⑤

④

北海道経済産業局

【訓練②】燃料取得訓練

（場所：出光興産(株) 北海道製油所）

- 参加機関：出光興産(株) 北海道製油所、陸上自衛隊北部方面隊、北海道経済産業局
- 訓練内容：北海道からの要請に基づき、陸上自衛隊が出光興産(株) 北海道製油所に出向き、陸上自衛隊の燃料タンク車と大型トラック（ドラム缶積載）で燃料（ガソリン、軽油）を取得する。

出光興産(株) 北海道製油所

（凡例）
燃料の動き

ガソリン
軽油

自衛隊車両が出光興産(株)北海道製油所から燃料を取得する。

軽油

トラックにドラム缶を積み込む

陸上自衛隊
燃料タンク車

陸上自衛隊
大型トラック

【訓練③】燃料供給訓練

（場所：札幌市水道局 配水センター）

- 参加機関：札幌市水道局、陸上自衛隊北部方面隊、北海道経済産業局
- 訓練内容：非常用発電機用燃料（軽油）の荷下ろし。
  陸上自衛隊が、出光興産(株)北海道製油所から燃料タンク車とドラム缶で取得した軽油を運搬し、配水センターに荷下ろしする。

（凡例）
燃料の動き

陸上自衛隊　燃料タンク車

札幌市水道局 配水センター

軽油を荷下ろし

陸上自衛隊　大型トラック

トラックからは
ドラム缶を荷下ろし

【訓練④】燃料供給訓練

（場所：北海道エネルギー(株) チャレンジ手稲インター給油所）

- 参加機関：北海道エネルギー(株) 、陸上自衛隊北部方面隊、北海道経済産業局
- 訓練内容：車両給油用燃料（ガソリン、軽油）の荷下ろし。
  陸上自衛隊が、出光興産(株)北海道製油所から燃料タンク車で取得したガソリンと軽油を運搬し、チャレンジ手稲インター給油所に荷下ろしする。

（凡例）
燃料の動き

北海道エネルギー(株)
チャレンジ手稲インター給油所
（住民拠点ＳＳ※）

ガソリン･軽油
を荷下ろし

陸上自衛隊　燃料タンク車

※ 住民拠点ＳＳ（北海道地域サポートＳＳ208箇所を含む）：
住民拠点サービスステーションは、自家発電設備を備え、災害などが原因の停電時にも継続して地域の住民の方々に給油できるガソリンスタンド。
2023年８月31日時点で、全国約28,000箇所のSSのうち、14,507箇所（約52%）が住民拠点SSとなっている。
同じく、北海道内は約1,700箇所のSSのうち、1,271箇所（約75%）が住民拠点SSとなっている。

【訓練⑤】燃料供給訓練

（場所：国家公務員共済組合連合会 斗南病院）

- 参加機関：国家公務員共済組合連合会 斗南病院、陸上自衛隊北部方面隊、北海道経済産業局
- 訓練内容：非常用発電機用燃料（軽油）の荷下ろし。
  陸上自衛隊が、出光興産(株)北海道製油所からドラム缶で取得した軽油を運搬し、
  斗南病院に荷下ろしする。

（凡例）
燃料の動き

国家公務員共済組合連合会 斗南病院

軽油を
荷下ろし

陸上自衛隊　大型トラック

トラックからは
ドラム缶を荷下ろし